公共施設保全計画と安全な水の供給について

立志会　小林 昭弐 議員

問　上重原西保育園園舎改修の建設工事概要は。

答　建設工事は、壁、床、天井において、保育室８か所、職員室、廊下、遊戯室を実施。トイレ８か所はすべて和便器から洋便器化。厨房は湿式床から全面ドライ方式に改修し、厨房器具を更新。屋根・外壁については、足場設置後に実施。

問　設備工事の概要は。

答　設備工事は蛍光灯のＬＥＤ化、扇風機新設、玄関ホール配電盤更新、トイレ電灯コンセント改修、外部スピーカーの更新。遊戯室は、空調工事、照明改修等を行う。

問　工事期間と期間中事故を起こさない配慮は。

答　工事期間は、６月中から翌年の２月まで９か月間を想定。保育室と保護者、児童の動線確保、厨房と保育室の給食配膳の動線確保。できるだけ工期を短くする。

問　水源からの原水は浄水場で浄化される。浄配水場から供給される飲料水はどのように検査しているのか。

答　浄水場、配水場から供給している水道水については、各施設から供給する末端に近い公園５か所の給水栓蛇口で定期的に年４回51項目検査。色度、濁度、残留塩素は毎日検査している。

上重原西保育園

ミニバスの利便性向上と安全対策

立志会　神谷 定雄 議員

問　平成12年から運行開始し、18年経過した知立市ミニバスについて、利用者数も年々増加し、市民の足として、欠かせない交通手段となっているが、バスの遅延やバス停の設備など問題となっている。今後、利用者がより乗車しやすいミニバスにするため、様々な課題を解消すべく、ダイヤ改正に向けた具体的なスケジュールは。

答　運行事業者とダイヤ改正についての協議を開始している。総合公共交通会議の承認を経て、運輸局への申請が必要なことから、２０１９年10月１日からの改正を予定している。

問　安全に走行できるルートを選択し、利用者や地域住民の不安を解消すべき路線見直しの計画については。

答　路線の見直しについては、安全ルートの設定、ミニバスの利用状況等を考慮し、必要に応じて実施していく。

問　本市と運行事業者２社との連携など、問題点の解消は。

答　定期的に２社の運行事業者と約２か月に１回ミニバス運行事業者会議を開催し、注意事項や問題点について協議を行っている。本市と運行事業者が、共通認識のもとでミニバスの運行ができるよう心掛けている。

通学路の安全確保について

市政会　**中島 清志 議員**

谷田交番前交差点（谷田町）

問　新入学を控える年長児に対する交通安全教育の特徴は。

答　年度末に各保育園周辺の道路を年長児が一人で歩く体験や傘をさして横断歩道の歩き方などを実施している。

問　小中学校の交通安全教育の状況は。

答　小学校では入学後すぐに親子交通安全教室、２年生または３年生で自転車乗り方教室を実施。中学校では自転車通学生徒への指導、１年生に自動車学校による交通安全教室を実施。

問　知立市通学路交通安全プログラムには、継続的な通学路の安全確保とされている。小学校区における安全対策と通学路対策箇所の一覧表の公表状況は。

答　警察と知立市関連部署が合同で通学路の対策箇所や改善事項を決定。公表は関係者間の認識共有に留め、各学校区の安全マップ作りの材料にしている。

問　谷田町の危険な通学路箇所といえば、県道安城知立線と市道牛田西中線が交差する谷田交番前交差点。県道側と市道側の道路改良工事予定は。

答　県道側については、平成30年度から測量実施、２０２１年度から工事施工、２０２２年に完成予定。市道側は平成10年に1.5車線化完了。新規事業着手には、現地状況の見極めが必要。

西新地地区再開発事業の見直しを

日本共産党知立市議団　**佐藤 修 議員**

問　西新地地区再開発事業（知立駅前の市営駐車場一帯）は、平成23年の検討（住宅棟等）では事業費72億円。27年に公益的施設が加わり、100億円になった。なぜ公益的施設が必要なのか。

答　総合計画等を精査し、建物のコンセプトに子育て支援をメインにした中で、公益的施設が必要となった。

問　公共施設等総合管理計画では、原則、新しい施設はつくらない方針。なぜ、公益的施設、子育て支援施設か。目的は。

答　あくまでも原則、必要な施設はつくらざるをえない。地域の防犯・防災機能の向上、まちの拠点、核ができることで価値が上がり税収効果も期待できる。

問　100億円かけなくとも事業目的、効果は達成できる。公益的施設等を外し住宅棟に特化すべき。改めて見直しを求めたいが。

答　地域の防災問題を解決し、一定の商業、公益的施設を誘致して、新しい中心市街地の賑わいを創出していきたい。

問　どうしてもというなら、公益的施設に保健センターを移設し、跡地に知立保育園を移転させて、懸案となっている保育園問題を解決すべき。

答　今回の再開発の目的にかなうものを今後、しっかり検討していく。

歴史・文化を活かした観光振興について

民友クラブ　神谷 文明 議員

問　知立市観光振興計画に「煎茶文化」を取り上げた理由は。

答　市内の代表的な観光スポットである八橋無量壽寺が「煎茶」と深い関係にあるため。

問　物の豊かさを感じる観光から心の豊かさを実感できる体験型・交流型の観光形態が全国各地で成功している。来場者の少ない観光交流センターにおいて八橋売茶翁を紹介し、煎茶体験ができるようにしてはどうか。

答　体験型観光は増えている状況なので、今後の参考にしたい。

問　八橋旧跡保存館にある琉球王府の宮廷楽器「長線（ちゃんせん）」は沖縄にも現存しておらず、知立以外では名古屋の徳川美術館所蔵の物と2点しかない。市内外にどのようにPRしているのか。

答　平成29年夏季に企画展「八橋売茶翁没後190年」にレプリカを展示。知立市史、文化財マップに掲載し周知に努めている。

問　無量壽寺の「杜若池（かきつばたいけ）」は福島城の二の丸御外庭にもまねて造られたほどの庭園で、八橋売茶翁が手がけた池泉式回遊庭園だが、往時の風情を感じられるように再整備してはどうか。

答　平成27年度に検討委員会で整備方法を検討した。史跡保存と観光振興の観点で相反する意見があった。今後も両面から整備計画を策定する必要がある。

トピック　知立市総合計画の実施計画がテーマごとに策定され、2019年度から2021年度の計画期間で推進されます。その一部を紹介します。

□人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

障がい者支援事業／2020年度、基幹相談センター設置に向け相談員を２名増員する。

児童発達支援センター開設事業／2020年度、中央子育て支援センター内へ、児童発達支援センター設置に向け必要な準備を行う。

骨髄提供者等支援事業／骨髄提供者の入院、通院等の負担軽減のため補助を実施する。

□人が集う交流のまちづくり

空き家対策事業／空家の危険回避のため「知立市空家等の適切な管理に関する条例」に基づき必要最小限の緊急安全措置を速やかに実施する。

幹線市道路面緊急補修事業／１、２級幹線道路の補修修繕により自動車の安全走行を確保し、安心安全な道路の維持を図る。

市制50周年記念事業／2020年に市制施行50周年を迎えるにあたり、シティープロモーションや市のPRを通じ、シビックプライドを醸成する。

□次代を担う子供を豊かに育むまちづくり

子どもサポート教員配置事業／子どもサポート教員を東小学校へ２名増員し、外国人児童へのきめ細かな対応、いじめ・不登校防止を図る。

大型備品整備事業／給食用大型冷蔵庫の更新、ICT 教育推進のための大型ディスプレイの中学校普通教室への設置を行う。

□芸術や文化を大切にするまちづくり

文化芸術推進基本計画策定事業／文化芸術に関する総合的かつ計画的推進を図り、心豊かな活力ある地域社会の実現を図る。

□知立が輝くための仕組みづくり

旅券事務事業／県から権限移譲を受け４月より、市の窓口で旅券事務手続きを実施する。